

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国学力・学習状況調査で第3学年生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 表現の効果を考えて描写することができている。
- 目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができている。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることに課題がある。

【数 学】

- 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができている。
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができている。
- 数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

【英 語】

- 日常的な話題について、自分に置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができている。
- 日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができている。
- 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを理解し、まとまりのある文章を書くことに課題がある。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーションを作成することができる生徒の割合が多い。
- 学級で、学校生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めることができる生徒の割合が多い。
- 自分にはよさがあると思いますかといった自己有用感に関する質問に肯定的に答えた生徒の割合が低い。
- 学習の自己調整に関して、学習した内容の分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると答えた生徒の割合が低い。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があつた取組

- ・学習の自己調整力を高めるための0時間目を活用した基礎・基本の確実な定着
- ・各教科の課題を踏まえた授業改善宣言の周知と日常的な授業改善の推進

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・その教科を学んで楽しい・役に立つと実感できる実用的課題や学問的課題に基づいた学習課題の設定
- ・対話的で深い学びにつながる言語活動および探究活動の推進

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

① 効果があつた取組

- ・総合的な学習の時間・学級活動・道徳科における生徒の学びの価値づけと教師と生徒および生徒同士の望ましい人間関係の構築
- ・裁量的な時間を活用した個人探究活動による問題解決能力の向上

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・魅力的で実用性の高い学習課題の設定による、学習意欲と学びの自己調整力の向上